

何年たっても
仲間は仲間。

みなさん、鵬友会ホームページ見てますか？

鵬友会ではHPをリニューアルし、2年が過ぎました。皆さん御覧いただけましたでしょうか。HPでは各支部総会等の案内や会員の皆様からの投稿、佐世保校就職セミナーOB面接官の募集、開催報告等さまざまな情報を更新しております。

住所変更もHPで変更可能になり、これまで50件以上受付しております。ネットからであればいつでも便利で簡単ですので、変更の際はご活用ください。

新しいHPでは会員限定でちょっとした投稿もできます。是非お気軽にご利用ください。

【転居等の情報変更】があったら必ず再登録下さい。新ホームページからは簡単です。

郵便局の転送サービスで会報等を受け取られた場合は、その時点では宛先不明で戻ってこないため、住所を変更されたことが分かりません。そのため転送期間終了後は、鵬友会からの情報をお届けすることが出来ませんので、転送サービスで届いた方、住所を変更された方は事務局に必ず届出下さい。新HPからは簡単です。

[新URL]https://www.ootori.net

『令和5年2月15日』
同窓会事務局
移転
しました

地域交流棟が完成し、同窓会事務局も学生会館より引っ越ししました。一人での引っ越し準備作業の大変さと、この場所を離れる寂しさとし、色々な思いがありましたが無事に移転が完了しました。大学に用意していただいた部屋は広くて、とても仕事がしやすい環境です。地域交流棟は主に学生が過ごしたり勉強する場所が多く、賑わっております。大学にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



事務局がある地域交流棟玄関。とってもおしゃれです。



懐かしい移転前の事務局。お世話になりました。



給湯コーナー完備。不意な来客も安心。

広くて明るく、とても仕事がしやすい環境です。みなさんお気軽にお立ち寄りください。

日頃よりHPや会報作成に協力いただいております(株)アルファプリンティング様から移転御祝いとして観葉植物(ユッカ)をいただきました。ありがとうございました。



事務室 Office
在室か外出か一眼で分かります。



長崎県立大学 佐世保校同窓会 鵬友会会報
おととり

Vol. 36

発行/長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会
長崎県佐世保市川下町一三三(大学内)
TEL: FAX: 〇九五六一四七五一四六
フリーダイヤル 〇一〇一四七九〇四四
E-mail: ho-yu@nifty.com [HP] ootori.net

おととり36号に寄せて
会長挨拶

鵬友会会長 角田 隆一郎



何年たっても仲間は仲間。

会員の皆様には、日頃より鵬友会の活動にご理解・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

令和四年度鵬友会総会にて、伝統ある鵬友会の第七代会長を拝命いたしました昭和59年度卒の角田隆一郎です。何卒宜しくお願い致します。

令和五年がスタートし、今年も母校ではおととりたちが未来へ向けて力強く飛び立ち、そして新しく多くのおととりたちが入学してきました。

昭和55(1980)年3月9日に設立された鵬友会は44年目を迎え、会員数も17,200名を超え、その間、会長は、初代・草野豹一郎先輩、二代・原岡慶和先輩、三代・前田敬一先輩、四代・森田茂先輩、五代・澁谷明幸先輩、六代・宮地学先輩と受け継がれてまいりました。特に、前任の宮地会長には、厳しい世情の中であるにもかかわらず、会費の改定や大学の

改築に伴う記念品の贈呈、ホームページの刷新、会員の親睦融和に腐心されるなど卓越した指導力で会の運営をしていただきました。心より感謝と敬意を表します。

私は、大学で多くのものを学び、多くの友、先輩、後輩に恵まれました。それらを踏まえ、私は、鵬友会が発展するために「考える同窓会」にしたいと考えています。より良い会員相互の親睦はどうすれば良いか。長崎県立大学が選ばれる大学になるために鵬友会がどう関われば良いか。現役の学生に、同窓会として何が出来るか。など流されるのではなく、「考える同窓会」にし、OB、OG、現役学生、未来の学生に「鵬友会があって良かった」と感じていただけるよう、皆様のお力をお借りしながら任期を全ういたします。

退任のご挨拶 相談役 宮地 学

会員各位におかれましては2期6年間にわたり大変お世話になりました。こうして会長職を務めることができましたのも皆様のご協力のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

在任期間中は会員総会、役員総会、支部総会等で多くの会員及び大学関係者と交流できましたことは、私にとって大変貴重な体験であり、人生の大きな糧になったと思います。

また、各地の支部へ訪問する度に、鵬友会会長ということでもとても歓迎され、大事にされましたことは一生忘れることができません。この場をお借りしましてあらためて御礼申し上げます。

鵬友会の仲間は、年齢、職業に関わりなく、不思議とすぐに打ち解けることができます。それは佐世保の地で共に人生の岐路に悩み、苦しみ、そして希望を見つめてきた青春時代を過ごしてきたからだだと思います。

ただ、最近は新型コロナウイルス感染症の影響で学生同士の交流が少なくなっていると聞いています。まことに残念なことで何とか正常化して欲しいと思います。この状況が長引けば鵬友

会活動にも徐々に影響がでてくるのではないかと感じています。後任の角田隆一郎君は、母校をこよなく愛し、これまでも本部役員として鵬友会活動に積極的にかかわってこられました。コロナ禍の中での鵬友会活動のむずかしさも十分理解しています。これからの鵬友会活動のあり方に新しい答えを出してくれるものと思います。

「何年たっても仲間は仲間」です。私は今後も相談役として角田新会長を支えていく所存でございます。会員各位におかれましても、角田新体制へこれまで以上のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、母校では校舎の建て替えが進行中です。旧校舎はまだ一部残っておりますが、数年後にはすべて取り壊しになってしまいます。旧校舎が無くなる前に一度佐世保に足を運んで母校を訪ねられたらいかがでしょうか。

皆様のお帰りをお待ちしております。



学長就任のご挨拶

長崎県立大学
学長 浅田 和伸

策研究所長、前々職は文科省の総合教育政策局長です。それ以外に放送大学学園、三重県教育委員会、北京にある在中国日本国大使館、内閣官房、大学入試センターなどでの勤務経験もあります。前例も制度もなかったのですが、どうしても学校現場で仕事をしたいと強く希望し、公立中学校の校長を3年間務めました。教育現場の最前線での経験は、今でも生涯の宝物です。

◇長崎とご縁

友人を訪ねてハウステンボスに来たことがあります。校長時代は修学旅行の引率で3年続けて長崎に来ました。父は早くに母親を亡くし、弟妹の世話をするため大学に行かず、志願兵として原爆投下直後の広島や、また母の(やや怪しい)記憶によれば佐世保にも来ていたようです。

私は、教育は人を幸せにするためにあり、子供たちのために、何が何でも平和を守らなくてはならないと考えています。

本学、本県に来させていただいたのは、亡父の導きかもしれません。

◇「鳳、舞う」

自宅の部屋に、文部省におられた書家の方が書いてくださった「鳳舞」の書を掲げています。「ほうぶ」と読むようですが、文字通り「おとし、舞う」の意味です。大空を自由に飛翔する姿が目に浮かびます。

鵬友会の皆様のご支援をいただきながら、長崎県立大学がさらに高く、強く、美しく飛翔できるようにしていきたいです。引き続きのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



◇「ナショナル・ブランドの創出」を目指す

はじめまして。木村務前学長の後任として、令和5年(2023年)4月から長崎県立大学長を務めさせていただくことになりました。皆様のお支え、応援あつての大学です。よろしく願いいたします。浅学非才の身ですが、お受けした以上、本学の充実発展のため全力を尽くすことをお約束します。

木村前学長は学生広報スタッフのインタビューで、「次の学長に伝えたいこと」として「ナショナル・ブランドの創出」を挙げておられます。そのご期待に応えられるよう、県内外への情報発信を含め、頑張りたいと思います。

◇自己紹介…離島、文科省、校長など

瀬戸内海の小豆島の近くにある豊島(てしま)という離島の出身です。家は農家で、父の晩年は知的障害のある方々のグループホームのお手伝いなどもしていました。今も母が島にいます。

島には高校がなく、中学を出た後は、僻地の子たちのための寮から新設の県立高校に通い、その後、東京の大学で心理学を専攻しました。文部省(今の文部科学省)に就職してからは、大学関係を含め、主に教育行政を担当してきました。前職は国立教育政



学長退任のご挨拶

長崎県立大学
前学長 木村 務

◇教育改革の成果を求めて

コロナ禍のもと同窓会の皆さんにはお会いできませんでしたが、さまざまな取り組みへのご協力に、心よりお礼申し上げます。私が学長を務めた期間は、新たな教育課程の成果を出す時期でした。本学は2016年に、しまナビ、長期のインターンシップ、海外ビジネス研修あるいは地域企業での経営実践など、教育課程の中心に実践的な科目を多く取り入れ、厳しい状況でも、自分で考え、自ら切り開く力、学び続ける力そして同僚との協力を求める人材の育成を目指してきました。

この取り組みで多くの入学生も心機一転、新時代を迎えましたが、実際には各学科には多くの課題がありました。たとえば情報システム学科では、入学時に受けた卒業要件の説明が不十分で、また試験

のレベルも高すぎるという切実な問題にぶつかっていました。また、大学制度の改革により学長の権限が強化されましたが、各部署・学科の意識をいかに全学共有の取り組みにするかでは、学長権限のあり方がいつも試練を受けていました。

学長任期4年の当初の2年間はこうした諸課題との闘いの連続でした。

しかし、全部局・学科が参加する中期計画推進本部の形成によって、各部署・学科の参加と意識の改革を進めることができ、また、副学長を、機能を重視して4人に増やし、うち3名は女性となりました。さらに、大学院も博士課程の設置、大学院も教員主導で実現できました。これらの改革についても、先生方と職員の方々のご活躍に心から感謝しております。

こうして後半の2年間もあつという間に過ぎました。最近になって、県内有力なリーダーから、実践的な課題への取り組みを通じ、自分がよくわかっている学生が育っている、といわれたことは大変嬉しいお言葉でした。

本学の取り組みは、今の時代への挑戦と考えておりますが、まだまだ時間がかかります。同窓会の方々にもご協力をお願いしておりますが、今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

学生時代にタイムスリップ!おとしりたちが一堂に集う「鵬友会総会」 令和4年7月16日(土)開催!



佐世保駅



役員会



鵬友会HPでも紹介しています。



何年たっても仲間は仲間。

懇親会・万歳三唱



懇親会・会長挨拶



懇親会



懇親会

～鵬友会と県立大学の益々の発展を願って～ [長崎支部 中島 宏平]

2010年3月卒業、長崎支部の中島宏平と申します。現在は地元の長崎市を中心に金融関係の仕事をしています。

私が鵬友会の活動に関わらせて頂くようになったのは、2019年7月に佐世保で開催された総会に参加したのがキッカケです。

当日はいろんなOB・OGの方々とお話ができて、大変有意義な時間を過ごすことができました。その時、「母校の為に日々いろんな方々が活動されているんだ」ということを知り、「微力ながら自分も少しでも関わっていったら」と思うようになり、現在に至ります。

「佐世保就職セミナー」では在学生の為に、毎年多くのOB・OGの方々が面接官役として参加されています。このような素晴らしい伝統が根付いている大学は、全国でも数少ないのではないのでしょうか。

私も少しでも恩返しができればと思い、2019年の回より参加させて頂いております。

鵬友会の活動を通じては、「若い世代の卒業生の方々ももっとたくさん関わって頂けたら、更に盛り上がりしていくのでは」と感じています。キッカケは何でもいいと思います。なかなか会えていないご友人に会う機会として総会や支部会で懇親を深めるのもいいと思いますし、「懐かしいキャンパスを久し振りに訪れてみよう」というのをキッカケに佐世保就職セミナーに参加されるのもいいと思います。そうやって母校に関わる卒業生がもっと幅広い世代で増えていけば、更なる好循環を生み、鵬友会も県立大学も益々発展していくはずですよ。

今後、1人でも多くの卒業生の方々のご参加を、心よりお待ちしております!!

※誌面の都合により文章を制変させていただいております。原文につきましてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

2022鵬友会ゴルフコンペに参加して

佐世保支部 瀬戸口 功



(順位)	(氏名)	(GROSS)	(HDCP)	(NET)
優勝	瀬戸口 功	85	12.0	73.0
二位	坂井 真洋	98	22.8	75.2
三位	角田隆一郎	98	21.6	76.4

日時 令和4年7月17日(日)
場所 佐世保平戸カントリークラブ(佐世保市江迎町)

3年毎に開催される鵬友会ゴルフコンペに参加しました。今回はコロナ禍で開催そのものが危惧されましたが、戸外での活動でもあり実施されました。しかし参加者が非常に少なく2組(7名)のコンペとなりました。

当日は天候も良く風の無いゴルフ日和で全員元気にスタートして行きました。インからのスタートで私は1組目で前半順調にスコアを重ねていきましたが、インの7番(パー4、387Y)で8(3オン、5パット)を打ち、ゴルフはメンタル面も重要な要因と改めて痛感した次第です。というのは、前の6番ホールにゴルフ用具を2本(sw、pw)置き忘れており、2組目の人が7番プレー中に届けてもらい動揺したのではないかと思います。それでもイン43、アウト42で終了でき、私としてはまずまずのスコアでした。プレー終了後はコロナ対策された会場に場所を変え、成績発表と表彰式を行いました。

今回は千北裕吉世話人の配慮でニアピン、ドラゴン等の各賞及び順位賞並びに魚沼産コシヒカリの参加賞を頂き、和気あいあいとした懇談の後、3年後の再会を約して散開しました。最近のゴルフは乗用カート付きで又コース内乗り入れ可能なゴルフ場も多く、健康であれば終生できるスポーツです。

次回コンペは会員多数の参加を祈念いたします。尚、上位の成績は左記の通りです。

就職セミナー3年ぶりに対面方式で開催！ 令和4年11月12日(土)

空前絶後のコロナ禍において、一昨年は試行錯誤の上「オンライン就職セミナー」として1日に短縮にされ、初めて開催されましたが、昨年度は3年ぶりの対面開催ということで、全国各地より36名のOB・OGの方に面接官としてご参加いただきました。

3年生70名程の参加があり、午前には集団面接2回、午後にはグループディスカッション2回を行いました。参加の学生たちは緊張した面持ちでしたが、自分のアピールしたい事を一生懸命に伝えていました。今回で得たものをこれから始まっていく就職活動に活かして欲しいと思います。

真剣な学生たちの写真と関係者の皆様の声を掲載します。



※個人情報保護のため、一部画像を加工しています。ご了承ください。

長崎県立大学 就職課長 岡村 哲也様

今年度の「佐世保校就職セミナー」は、各ブースの間隔をとりつつ、空気清浄機やパーティションの設置、会場(体育館)での昼食(黙食)など、コロナ感染症対策を講じながらではありますが、3年振りとなる「対面」での実施となりました。当日は11月らしく暖かな天候と、学生と面接官の熱気で、会場内は窓を開けても汗ばむほどでした。

パーティションやマスク着用での面接で、お互いの声が聞こえずらく、表情もわかりづらい状況ではありますが、「対面」ならではの緊張感が会場を包む感覚に「これぞ、佐世保校就職セミナー」と感じました。学生も、実践さながらの面接で手が震える、頭が真っ白になると話していました。

終了後、参加してよかったと話す学生の声を聞き、安堵すると同時

に、無事に有意義なセミナーとして終了できたことは、鵬友会の皆さまの臨機応変なご対応があればこそと強く感じました。

企業の採用活動のオンライン化は急激に進み、学生の就職活動のあり方や行動も大きく変化しています。このような中、鵬友会におかれましては、学生に対していまできる最善の支援を考え、取り組んでいただいていることに、あらためて感謝申し上げます。

長崎県立国際経済大学から長崎県立大学へ、経済学部から経営学部・地域創造学部へ、さらに新たな校舎への建て替えも進んでおります。

大学も時代とともに変化していますが、大学・後輩に対し、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鵬友会 東海支部 加藤 亮輔様

セミナー開催 ありがとうございます。

令和4年11月12日(土)に開催された就職セミナーに初めて参加させていただきました。学生時代は進学希望だったこともあり参加しておらず、今回が全く初めての経験ということになりました。

面接というものには、Webや本など教科書的なものがたくさんあり、その型にはまっていれば上手に対応できているように思えます。私もそのようにして面接を受けたことが何度かあります。しかし、今回のセミナーで面接官役を務めたことで、型どおりの対応をとる人には、型どおりの評価がつくことを面接官側として感じられました。もちろん、そうした対応を求められる面接があるかもしれませんが、面接官側としては型の一歩先にある「思い」や「考え方」を感じたいと思いましたし、受ける側はそれらを伝えたいと思って臨まなければ、充実した面接にならないことを感じられました。(私自身が、面接を受けて

いて「楽しい」と思った企業に入社したために、このように思うのかもしれませんが…)

今回は初歩的な部分の練習とのことでしたし、時間の制約もありましたので、一歩踏み込んだ部分を伝える前に印象を落とすことが無いようなアドバイスが中心となりました。一方で、休憩時間や昼食では、こちらが考えさせられるような質問をいただくこともあり、私も勉強になった体験でした。

自分を見つめなおすことや、目上の人と次々に関わること、気を遣って書く・話すことなど、就活にはストレスのかかる場面が多々あると思いますが、少しでも学生さんの参考になる経験となれば幸いです。また、私にとっても大変に有意義な時間・経験でした。ありがとうございました。

長崎県立大学 域創造学部 公共政策学科 3年 中村 健太さん

この度はお忙しい中、私たち3年生のために佐世保校就職セミナーを開催していただき、誠にありがとうございました。面接指導をしてくださったOB・OGの皆様と4年生の先輩方、セミナーを準備してくださった就職課の方々へ心より感謝申し上げます。

今回のセミナーに参加するにあたって、初めてエントリーシートの作成や面接等の練習を行いました。普段は自己分析をする機会が少なく、面接の時に何を話せばよいか戸惑うこともありましたが、そうした経験を通じて就職活動への危機感を持つことができました。

セミナー当日は、緊張感のある中で集団面接とグループディスカッションに臨むことができました。また、それぞれ事後に的確なアドバイスを頂いたことで、話し方の改善点や自身のアピールできる点を見つけることができました。昼食の際にも、OB・OGの方からアドバイスを頂き、4年生の先輩からは就活体験談を聞くことができとても参考になりました。

今回のセミナーでの経験を活かし、志望動機や自己PRなどをブラッシュアップして就職活動に取り組みたいと思います。

長崎県立大学 経営学部 国際経営学科 3年 井手尾 更紗さん

この度はお忙しい中私たち3年生のために佐世保校就職セミナーを開催していただき、誠にありがとうございました。先輩であるOB・OGの方々、4年生や就職課の皆さん、先生方に心より感謝申し上げます。

この就職セミナーの事前準備として、エントリーシートの作成と集団面接、グループディスカッションの練習を行いました。これらは私にとって全て初めての経験でした。セミナーがなければこのような時間を設けることもなかったと思うので、早い段階から就活への意識を高めることができ良かったです。

当日は、本番のようにスーツを着用し、集団面接とグループディスカッションを面接官の皆さんと行いました。緊張感のある雰囲気の中でしたが、回数を重ねるごとにだんだん慣れていき自分の力を少しずつ発揮できるようになったと思います。個人的な講評もいただき、自分の良い点も悪い点も知ることができました。今回ご指摘いただいた点、そして自分自身に足りていないと感じた点をしっかりと見つめ直し、今後の就職活動に活かしてまいります。

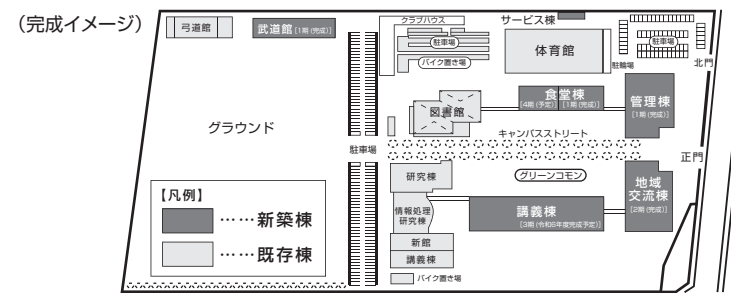
●本年度もさらに充実したセミナーになるよう関係者の皆様のご協力をお願いいたします。



地域交流棟

「開かれた大学へ」

大学内外の交流の拠点となる地域交流棟は、誰もが気軽に足を運びやすいように大学正門近くに配置されました。1階入り口付近には大学内外の交流に活用できる「プレゼンテーションスペース」を設け、隣にはオンライン、グループ、個人などの学習形態に柔軟に対応できる「ラーニングcommons」を設置。企業との共同研究や地域講座の開設など、外に開かれた交流の場としても活用できます。四つの「PBL教室」は課題解決型学習など、学生の主体的・実践的な学びに応える施設となっています。また、学生の活動を学外にアピールするための「経営実践室」や、外国人との交流や、企業や社会の国際化を支援する機能も持つ「グローバルエリア」も設置されます。3階建ての講義棟は令和6年度完成予定で、現在工事中となっております。



令和4年度もおおとりたちが全国に羽ばたいていきました。

◆令和4年度卒業生【進路状況】

学科名	男女	卒業生数	就職希望者 (A)	内定者 (B)	就職内定率 (B/A)
経営学科	男	86	75	75	99.2%
	女	57	54	53	
	計	143	129	128	
国際経営学科	男	14	14	14	100.0%
	女	30	28	28	
	計	44	42	42	
経営学部 計	男	100	89	89	99.4%
	女	87	82	81	
	計	187	171	170	
公共政策学科	男	68	62	61	99.0%
	女	44	41	41	
	計	112	103	102	
実践経済学科	男	88	81	80	98.4%
	女	48	45	44	
	計	136	126	124	
地域創造学部 計	男	156	143	141	98.7%
	女	92	86	85	
	計	248	229	226	
佐世保校 計	男	256	232	230	99.0%
	女	179	168	166	
	計	435	400	396	

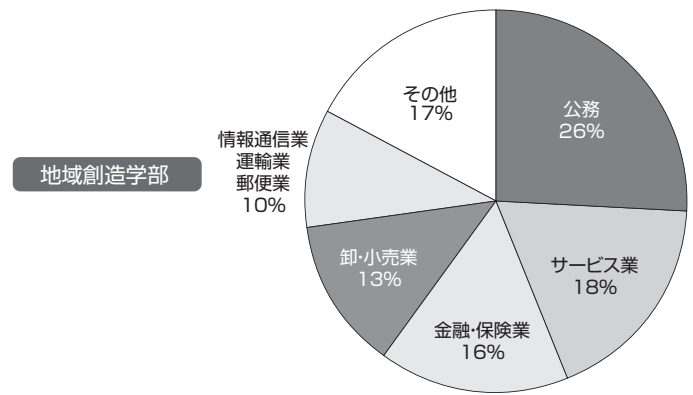
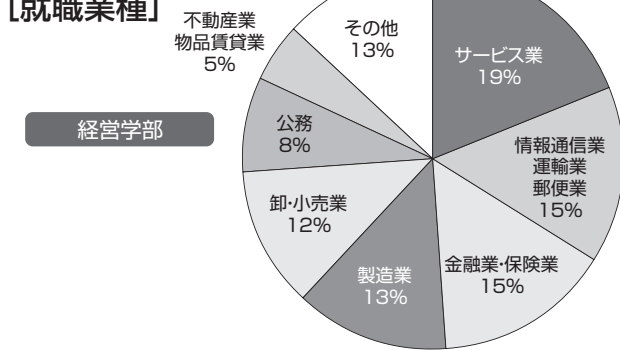
(就職課資料提供/令和5年3月末現在)

◆令和4年度卒業生【業種別就職状況】

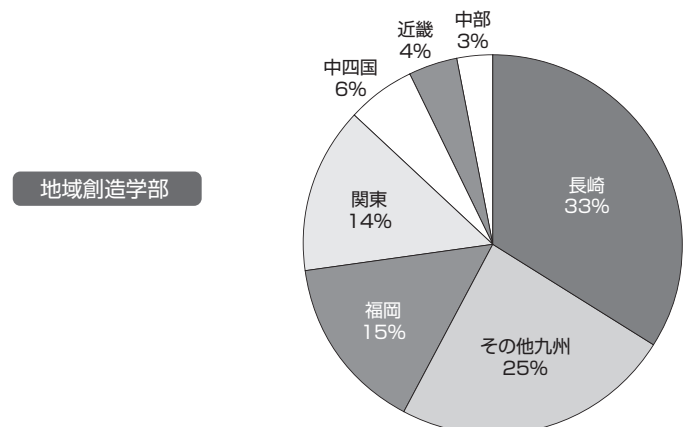
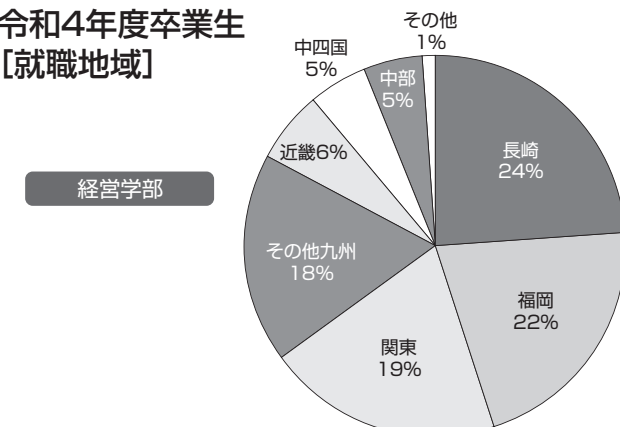
業種	経営学部		地域創造学部	
	県内	県外	県内	県外
農林漁業	0	0	0	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0
建設業	1	1	5	4
製造業	2	2	20	7
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	2	1
情報通信業、運輸業、郵便業	3	5	23	17
卸売業・小売業	4	8	16	22
金融業・保険業	15	18	11	18
不動産業・物品賃貸業	1	1	8	7
学術研究、専門・技術サービス業	3	0	5	3
宿泊業・飲食サービス業	0	1	3	3
生活関連サービス業	1	3	1	4
教育・学習支援	2	1	2	7
医療・福祉	2	1	3	2
複合サービス事業	2	3	1	9
サービス業(他に分類されない)	0	6	15	9
公務	4	23	10	36
上記以外	0	1	4	1
合計	41	75	129	151

(就職課資料提供/令和5年3月末現在)

◆令和4年度卒業生【就職業種】



◆令和4年度卒業生【就職地域】



長崎県立大学 『昨今四方山話』 [1]

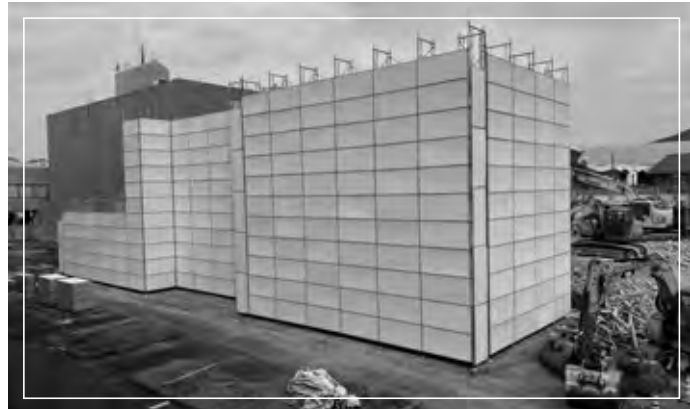


大学全入時代を迎えた今、大学には多様な学生が入学するようになりました。それに伴い大学の教育も大きく変化し、新たな大学の在り方の模索が続いているところです。校舎が変わり、教育の在り方も変わってきている現在ですが、地域に根差しつつも世界に開かれた長崎県立大学の建学の精神は、これからも受け継がれていきます。それはひとえに同窓生の皆様の大学への強いお気持ちとご支援に支えられていることです。今後とも長崎県立大学にたくさんの愛情を注いでいただければと思います。

続きまして、岩重より「生まれ変わろうとしている長崎県立大学・教育現場編」として書籍の紹介をさせていただきます。『地方からの学びの輝き - コロナ禍における地方大学での教育実践と考察』（今年3月に出版）です。この本は、本学佐世保校教員9人が、新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染状況の中での自らの新たな教育実践と大学教育についての反省を踏まえながら考察しました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、本学教育現場では、リモート方式の授業を余儀なくされ、さらには、2016年より実施しています本学の強みである学外での各種研修や実習が困難を極めた状況になりました。このような状況のもと、オンライン授業を含む新たな教育方式の模索や、実践そしてその教育効果の検証などにつき具体的な事例を用いた内容となっています。いわば、本学教職員が一丸となって教育の灯を消さず、建学の精神を守り抜くための挑戦の足跡です。長崎県立大学は、現在、佐世保校・シーボルト校両校合わせて学生数3,000人を擁する九州内でも有数の公立大学です。本学のこのような挑戦的な教育実践が、広くほかの地方大学の教育を考える事例の1つとなることを願いながら記しました。同窓会にもこの書籍をお届けさせていただきました。ご覧いただけると幸いです。

さあ、大学では、この4月より希望に満ちた新入生がたくさん入学してきます。ようやく対面での入学式も数年ぶりに実施することができます。

卒業生の皆様がたにおかれましては、お健やかに過ごしのことと思います。いつも本学運営に関し、温かいご声援を賜り、まことにありがとうございます。さて、今回、同総会誌に大学の今をお届けする機会をいただきましたこと、改めて深く御礼申し上げます。今回は、まず、橋本副学長より「生まれ変わろうとしている長崎県立大学・建物編」について紹介させていただきます。約半世紀前に建てられた長崎県立大学の校舎は、皆さんもご存じのように、この数年をかけて生まれ変わろうとしています。今、私は講義棟にしながらこの原稿を執筆していますが、窓からは、愛宕山と新しい校舎が見えます。そして、左手には旧大学院棟が解体されている様子が目に移ります。同窓生の皆様におかれましては、旧校舎にたくさんの思い出をお持ちの方も多くいらっしゃるかと推察します。



大学内は、先の橋本副学長が記していますように建物の工事が進んでおりますが、少し目を移しますと、学内には色とりどりの元気いっぱいの花々が咲き誇っています。パンジー、ピオラ、チューリップそして時計台の横には枝垂桜。まさに百花繚乱。新型コロナウイルス感染症の規制も解け、気分も一新。学内「花いっぱいプロジェクト」で教職員と学生とが力を合わせ心を込めて、きれいな花を咲かせています。

長崎県立大学は、建物も少しずつ新しくなり、そして、教育方法も学生たちの満足度をより高めることができますように、今後も挑戦を続けます。

同窓生の皆さまからの温かいご声援が、何よりの励みです。

今後ともご支援・ご鞭撻のほどをどうぞ
よろしくお願ひ申し上げます。

長崎県立大学
副学長 橋本優花里
副学長 岩重 聡美



鵬友会各支部からの 四方山話 (1)

何年たっても仲間は仲間。

例年各支部の前年度活動報告等を掲載しておりますが、今回36号でも新型コロナウイルスの影響で支部活動が思うように行うことができなかったこともあり、支部長の思いを「四方山話」として紹介したいと思います。各支部の違った一面が見えてくるとと思います。お楽しみください。 [愛宕富士]

【福岡支部】……福岡の観光地をご紹介します。

支部長 安部 勝己

皆様方におかれましてはコロナ禍にあっても、ますますご盛栄のことと存じます。

この様な状況の中、昨年10月福岡支部総会へ沢山の方に参加して頂きお礼申し上げます。

コロナも最近は症状が軽くなり、2種から5種への引き下げも検討されて人の動きが活発になってまいりました。

皆様方も旅行を計画されている方も多いと思います。

そこで、福岡の観光案内をいくつか紹介します。

【宮地嶽神社】

ここはテレビCMで使われ「光の道」で有名になりました。

参道の石段を上がって最上段に立ち、そこで振り返ると参道がそのまま道路へと繋がっているのが眼下に見えます。

その道はまっすぐ海まで一直線に続いていて、2月と10月の数日間のみ海から日没の太陽の光が差し込み「光の道」となります。

境内に入ると誰もが目を見張るしめ縄が超特大で、日本一大きいそうです。

ちなみに、広瀬アリス主演の映画「巫女っちゃん。」の舞台となりました。



宮地嶽神社



太宰府天満宮



博多祇園山笠

【東海支部】……支部役員が新体制となります。

支部長 神藤 和彦

令和5年2月11日(土)午後5時から、名古屋市の名鉄グランドホテルにおいて、第15回東海支部総会・懇親会を開催いたしました。

コロナの影響により3年ぶりの開催となり、お越しくださる方々と久しぶりの再会を果たすことができたとともに、本部の藤木副会長にも来名いただき、出席者は14名となりました。

初参加の方も1名おみえになりましたが、おなじみのメンバーが多いため、会の内容や呼びかけ方など工夫して、「考える同窓会」のすそ野を広げていくことが課題だと感じています。

私からは総会の議題である、令和4年度の活動報告・会計報告ならびに、令和5年度の主な活動予定について審議をいただきました。

また、令和5年度以降の役員改選が行われ、次期支部長には久保田益造さん(昭和57年卒)が選出されました。

私、神藤(昭和53年卒)は、前支部長である中村一さん(昭和48年卒)から引き継いで以来、6年間という短い期間ではありましたが、支部長を務めさせていただきました。コロナ禍で思ったような活動ができず、歯がゆい期間もありましたが、会員の皆さまからのメッセージなどに励まされ、支えられました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍が明け切った状況とは言い難いですが、新支部長のもと広報・事務局、また会員の皆さまと連携し、充実した活動によるつながり・広がりのある支部になることを期待しています。



第15回東海支部総会・懇親会

鵬友会各支部からの 四方山話 (2)

何年たっても仲間は仲間。

【愛宕富士】

【中国支部】……思いは成し遂げられるもの

支部長 栗根 秀則

趣味のゴルフについて、お話しさせていただきます。私は、61歳になって遅まきながらゴルフの「シングル(ハンディキャップ9)」になることが出来ました。

過去を振り返ると、タイガー・ウッズではありませんが、3歳くらいからゴルフと出会いました。当時は、ルールとマナーを厳しく言われた時代であったため、非公認の短いゴルフコースや練習場に何度か親に連れて行ってもらっていました。

やっと、小学校6年の夏休みに、親から許可が出て、久井カントリークラブ(18ホール、パー72)に連れて行ってもらう、クラブは大人用しか無く短目にクラブを持って、うれしくてうれしくて必死にボールと睨めっこしました。

その時のスコアが121打(60/61)でした。それ以来、80打前後のスコアを練習無しで出しておりましたが、年を重ねることに非常に難しくなっていました。

この為、一念発起して『シングルを目指す』目標を定め、3年前から体幹トレーニングや柔軟体操、スロージョギング(早い散歩45分)等、1日2時間弱の練習に日々努め、プロテインを飲むなど肉體改造を始めました。

体重も74.5KGから67KGに減少し、体調が万全となるとともにスコアも改善の兆しが見られ、昨年10月13日に念願の『シングル』に

なることが出来ました。

コロナ禍で行動制限があったものの、ゴルフは郊外で比較的 안전とされ、取組む機会に恵まれたことが、幸いしたものと思っています。

また、体力があって気力が生まれたことは、ゴルフだけでなく、今も現役で仕事をさせて頂いている礎にもなっています。

今後も無理をしない範囲で、引き続き健康管理に努めて参ります。

なお、地区の活動は、コロナで全く出来ておりませんが、拠点は広島・福山・岡山で、地区会の開催も可能です。四国も大丈夫です。

コロナが5月には5類に移行予定のため、今年こそは、どこかで地区会を開催出来ればと強く思っています。どうぞよろしくお願いたします。



【大分支部】……3年分の積もる話をしながら……

支部長 青野 浩志

「お変わりありませんか?の会(飲み会)」から活動を再開します! ～ 3年分の積もる話をしながら、懇親を深めましょう! ～

大分支部の青野です。コロナ禍も丸3年が経ち、振り返ると令和2年2月に支部主催の「第23回就職セミナー」を開催して以降、活動を休止している状況です。特に昨年は、行動制限もないことから、もう少し感染状況が落ち着いたら、先ずは集まれる人だけでも集まって、元気な顔を見ながら近況報告で懇親を深めようと思っていた矢先に、第7派、第8派となり、タイミングを逸してしまいました。

第7波が落ち着いた令和4年9月に事務局会議を行い、令和5年から活動を再開し、総会の前段として「お変わりありませんか?の会」と「総会」、そして令和6年2月には就職セミナーを行うこととしました。しかしながら、その後第8派となり、今は(2月時点)状況を見極めていくところです。

いずれにしても、出席者の半数を占める65歳以上の皆さんが安心して飲んで騒げる!?ことが何よりも大切なため、コロナの状況を踏まえつつ、できるだけ早い時期に「お変わりありませんか?の会」を開催することから始めたいと思っています。

ついでには、5月には季節性インフルエンザと同様に感染法上第5類に引き下げられるとのことですし、感染状況も落ち着いてきましたので、この会報が発行される6月頃の開催に向けて準備していきますよ(^ ^)

大分支部の皆様、再会できる日を楽しみにしながら、今しばらくお待ちくださいませ!!



※写真は前回総会(令和元年11月30日)の様子です。

【鹿児島支部】……鹿児島支部総会・懇親会開催決定

支部長 徳久 銀治郎

鹿児島支部長をしております徳久です、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

私、1月末に不覚にも新型コロナウイルスに感染してしまいました。医療機関の本部事務局に勤務していることもあり、日ごろから感染防止には人一倍注意していたのですが、いともあっけなく感染し、そして妻にも感染させてしまい少々ショックでした。

幸いにも、ワクチン5回接種が功を奏したのか、2日間の発熱だけで済み、7日間の自宅療養ののち、妻共々後遺症もなく通常の生活に戻ることができました。

コロナ禍も4年目に入り、政府が5月連休明けには、新型コロナウイルスを現在の「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を示しました。

インバウンド消費の取り込みによる景気浮揚への期待も現実味を帯びてきております。また、我々ひとり一人の考え方も、「Withコロナでの社会活動の正常化」の意識が強まってきました。今度こそ、コロナを乗り越えて、社会経済活動が正常化していくことが期待できるのではないのでしょうか。

鹿児島支部においても、2月23日に支部役員会を開催し、「第8回鵬友会鹿児島支部総会・懇親会」の実施を最終決定いたしました。6月3日(土)、17:00から開催いたします。

会場は鹿児島市内の「アクアガーデン ホテル福丸」です。

前回の開催が平成31年2月ですので、4年ぶりの開催となります。「With コロナ」で感染予防策を徹底すると同時に、同窓生の皆様の思い出に残る同窓会となるよう、役員一同努力していく所存です。

この鵬友会会報「おとと」の発行が6月1日ですので、皆様のお手元に届いた頃には、鹿児島支部同窓会は終了していると思います。

次回の「おとと」で「令和5年6月3日、鹿児島支部同窓会が華々しく開催される!」との活動報告を掲載することが出来ることを信じております。



支部役員会を開催



雄大な桜島

【宮崎支部】……盛況だったWBCキャンプ!

支部長 中武 邦宏

WBC日本代表が宮崎にキャンプにやって来ました。

連日、大盛り上がりの宮崎市内でしたが、私もキャンプ初日と最終日に見に行ってきました。2009年、イチロー選手が来た時も行きましたが、それ以来のフィーバーぶり。

大谷翔平選手が来れなかったことが非常に残念でしたが、もし来てたらもっと凄かったことでしょう。

毎年、多くのプロ野球球団がキャンプや試合に来る宮崎では、野球選手を間近に見れることはそんなに珍しいことではありません。ただ流石にダルビッシュ選手をはじめ、あれだけの選手たちが集結するとやはり圧巻です。

コロナ前にはなりますが、キャンプシーズンやフェニックスリーグシーズンになると温泉施設で選手とばったり一緒になることが。

ある時、某ホテル温泉でゆっくり過ごしていたら、仁王立ちしてるガタイのいい兄ちゃんがやたらジロジロと私のほうを見てくる。「誰だこいつ?」と、よく見ると元オリックスの吉田正尚選手。目の前で素っ裸(温泉なので当たり前ですが)で。

勿論、他のチームの選手とも遭遇したことも多々ありますが、こんなことがあるのも宮崎ならではの楽しみではないのでしょうか。

さて、話は変わりますが今年こそは鵬友会活動がようやく再開できそうです。その時は皆様方のご参加、ご協力を是非お願い致します。



鵬友会各支部からの 四方山話 (3)

何年たっても仲間は仲間。

【愛宕富士】

【関西支部】…… 鵬友会関西支部の活動を振り返って 支部長 木野田 博之

長引いたコロナ禍ではありますが、鵬友会関西支部の2022年度は3年ぶりに活動を再開することができました。御協力いただきました鵬友会本部、長崎県立大学、関西支部会員の皆様方には厚く御礼申し上げます。

また感染防止対策の為、人数調整の参加見合わせをお願いした皆様にはあらためてお詫び申し上げます。

マスク着用、個人判断、感染症法上の扱いの5類指定への見直しに伴い、通常通りの活動ができる日が早く到来することを楽しみにしております。

関西支部の2022年度活動は下記のとおりでした。

- 1. 関西支部総会: 2022年 8月20日(土) 参加人数 12名
- 2. 年末ボーリング大会: 2022年 12月18日(土) 参加人数 4名
合わせて長崎関連の行事にも参加し、他の団体との交流も図りました。

◆関西佐世保会総会(2022年11月開催)

2011年に誕生した長崎県北部にご縁のある方の親睦会

◆長崎県立五島高校 同窓会「関西大阪石城会」(2023年2月開催)
2023年度もコロナ禍をはじめ、ロシアのウクライナ侵攻、中国の台湾への関与、北朝鮮の弾道ミサイル配備など、先の読めない状況が続きます。

しかし鵬友会関西支部は、総会や懇親会などへの参加者が「楽しい!」「長崎県立大学出身でよかった!」と感じていただける活動を地道に続けていきます。

長崎県立大学の発展のため、鵬友会が卒業生や関係者の寄り処となり絆を育む場にしていきましょう。

最後に、長期化したコロナ禍により生活や経済活動に多大な影響を受けておられる方も多くは存じますが、鵬友会や長崎県立大学の関係者の皆様方が更なる御活躍をされることを心より祈念申し上げます。



2022/8/20支部総会



2022/12/18年末ボーリング大会

【佐賀支部】…… ”令和4年のこと” 支部長 吉浦 啓介

昨年の「おとと」原稿作成から早くも1年が経過しました。

1年前は今年中には支部総会を開催し、会長職を次の人に引き継げるのではないかと期待していましたが、コロナのせいで…。

今年5月には季節性インフルエンザと同じ5類に移行することになっていきますので、この秋にはぜひ支部総会をと思っています。

この3年間支部活動は殆ど出来ませんでした。昨年10月に福岡支部総会に参加させていただきました。何かと気を使っていた開催だったと思いますが、ありがとうございました。その席で1学年先輩と卒業以来45年ぶりにお会いでき、学生時代にタイムスリップし、ふしだらな学生生活をなつかしく振り返ることができました。このような機会があればこそ改めて開催されたことに感謝いたします。

昨年9月に帯状疱疹に罹患しました。加齢、疲労蓄積、ストレス等で免疫力が落ちてきて、水疱瘡ウイルスが活性化し発症するみたいです。

私の場合、右側頭部から頬、顎にかけての疱疹に加え、痛みを伴い1月以上の治療を余儀なくされました。ワクチン接種のテレビコ

マーシャルをやっていましたが、自分に降りかかるとは…。因みに配偶者は私の2月前に罹患し、腹部を中心に発疹が出ました。昨年の夏は我が家にストレスが充満していたのでしょうか?皆さんも気を付けてください。

昨年は4人目の孫誕生、風呂のリフォーム等の良き出来事もありました。1年後の原稿はきっと後任の会長が作成していると思います。そのためにも今年こそ支部総会をと願っています。それでは。



佐賀バルーンフェスタ

【長崎支部】…… 変わりゆく長崎に新幹線がやってきた!! 支部長 川久保 芳洋

変わりゆく長崎シリーズの3回目です。

この原稿を書いているのが2月下旬。迫り来る締切を気にしつつ、ついこの前「うさぎ年」を迎えたのに、もう2月も終わりかと月日の速さを感じながら書いています。

突然ですがここで謎掛けをひとつ。「うさぎ年と掛けて、ハイハイがとてもし上手になった赤ちゃんと解く、そのところは…次はタツでしょう」

1月から2月にかけて、長崎ではランタンフェスティバルがありますが、そういえば3年前の今頃、コロナ感染が始まったことを思い出しました。以来コロナで中止となっていました。今年3年ぶりに再開。冬の長崎に鮮やかさが戻ってきたものの、集客数は過去最低だったそうです。

コロナに翻弄された3年間でしたが、変わりゆく長崎に明るい出来事もありました。

去年9月に待望の西九州新幹線が開業。これまでいろいろと賛否両論があったようですが、白いボディに赤いラインの「かもめ」を見たときはなんだか元気ができました。

先日、佐賀まで行く機会があって、早速乗車してみました。明るく綺麗な車内、振動を感じないスムーズな発進と加速、なかなか快適なミニ旅でした…が、武雄温泉駅で特急列車に乗り換えなければなら

らないのがやはり不便でした。

昨年もお伝えしたとおり、長崎は今「100年に一度の大変革」の真っ最中。JR長崎駅前に現在建設中の新駅ビル(令和5年秋開業予定)には、商業施設やオフィスなどのほかに、世界に名を馳せる最上級ホテル「マリOTTホテル」も入る予定で、交流人口の増大が大いに期待されているところです。

例年1月に行っている長崎支部の総会と新年会は、コロナとインフルエンザもあって今年も中止となりましたが、コロナもだいぶ収まってきていることもあり、暖かい時期に再開できればと考えています。変わりゆく長崎での皆さんとの再会が楽しみです。



やってきた新幹線

【関東支部】…… 1997年・大学創立30周年を祝う会 支部長 小室 宏

2022年度の関東支部は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、長崎県立大学東京のつどい(他支部では支部総会・懇親会と呼んでいるものです)をはじめとする全ての支部主催会合を休止いたしました。

また、3月の支部役員会にて今年度2023年度も秋までは全ての支部主催会合を休止することにいたしました。

同窓会会報は「記録保存」のツールとして最適です。

ですので、今年の会報には、昨年の会報にて予告しました1997年(平成9年)10月4日(土曜)に開催しました「大学創立30周年を祝う会」の出席者の氏名を載せます。(敬称略)

昨年の会報で都合の悪い方はお申し出ください、とお伝えしましたが、お申し出の方は一人もおりませんでした。

「大学創立30周年を祝う会」はその名の通り開学30周年を佐世保から遠く離れた東京でお祝いしようというもので、松田邦郎さん(67年度入学)、乾正明さん(69年度入学)、徳丸正雄さん(69年度入学)、楠原博さん(69年度入学)、山下末裕さん(72年度入学)、中内勝也さん(78年度入学)に実行委員をお願いして、東京都豊島区駒込の電通生協協会館地下1階レストラン「ぶらざ」にて午後5時から9時まで開催しました。

ちなみに会費は5,000円で、34名の方に出席していただきました。

- ◆来賓/川原 紀美雄副学長、岡崎 寛教授
- ◆67年度入学/伊藤 武、松田 邦郎
- ◆68年度入学/荒巻 宗一、江角 健一
- ◆69年度入学/乾 正明、松元 其吉、徳丸 正雄、楠原 博、坂本 憲治
- ◆70年度入学/山口 克也
- ◆73年度入学/河野 泰士、海老原 敬史
- ◆74年度入学/小室 宏
- ◆75年度入学/立石 庄一郎
- ◆76年度入学/有川 哲哉、岩田 正彦
- ◆77年度入学/中島 久善、谷村 美帆
- ◆78年度入学/中内 勝也、一瀬 光広
- ◆79年度入学/徳永 数則
- ◆80年度入学/小野 志郎、釘田 千年
- ◆83年度入学/谷津 直樹、永石 英二
- ◆85年度入学/小林 健司、西坂 晴美、糸島 孝俊、山崎 雅子
- ◆86年度入学/中原 浩二、太田 勝元
- ◆93年度入学/田邊 英治

ドメイン 秘話

2年前に同窓会本部ホームページがリニューアルされ、URLが <https://www.ootori.net> になりました。

この ootori.net は、関東支部で2002年(平成14年)春に取得して毎年管理費を支払い続けて保持していたものです。

ご存知の方は今更でしょうが、一つのドメインは世界にただ一つで、登録機関に早い者勝ちで申し込まなければなりません。

この手続きをしてくださったのが、小野志郎さん(80年度入学)でした。小野さんのお陰で「鵬」という鵬友会の一文字を私たちは使うことができたのです。



楽しかった2017年度「長崎県立大学・東京のつどい」

令和5年度予算 (案)

(収入の部) (単位:円) 令和5年4月28日

科目	予算金額	備考
1 会費(新入生)	8,800,000	@22,000×400名
2 名簿代	0	
3 寄付金	300,000	
4 預金利息	300	
5 雑収入	170,000	会員総会 ※来賓有として
(小計)	9,270,300	
前年度繰越金	10,464,927	
合計	19,735,227	

(支出の部)

科目	予算金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	
2 卒業記念品代	300,000	
3 通信費	1,200,000	
4 人件費	700,000	
5 支部活動費	1,800,000	12支部
6 旅費交通費	300,000	
7 渉外費	120,000	
8 事務局費	200,000	コピー機リース料を含む
9 印刷費	1,000,000	
10 鵬友会基金特別積金	2,000,000	
11 会議費	150,000	
12 総会費	600,000	
13 雑費	100,000	
14 部活動援助費	20,000	
15 就職活動援助費	100,000	
16 予備費	1,000,000	
(小計)	9,740,000	
次年度繰越金	9,995,227	
合計	19,735,227	

令和4年度貸借対照表

(単位:円) 令和5年3月31日

資産の部		負債・資本の部	
現金	19,241	未払金	2,500,000
郵便貯金	88,000	(負債合計)	2,500,000
普通預金	12,037,659	鵬友会基金特別積立金	14,000,000
定期預金	14,820,027	繰越金	10,464,927
		(正味財産合計)	24,464,927
合計	26,964,927	合計	26,964,927

令和4年度鵬友会基金特別積立金

(単位:円) 令和5年3月31日

期首残高	当期繰入	当期取崩し	期末残高
12,000,000	2,000,000	0	14,000,000

令和4年度予算及び決算報告書

(収入の部) (単位:円) 令和5年3月31日

科目	予算金額	実績金額	備考
1 会費(卒業生)	0	22,000	
2 会費(新入生)	0	44,000	
3 会費(次年度新入生)	8,800,000	8,316,000	@22,000×378名
4 名簿代	0	0	
5 寄付金	300,000	383,000	77名
6 預金利息	800	280	
7 雑収入	320,000	239,000	
(小計)	9,420,800	9,004,280	
前年度繰越金	9,754,117	9,754,117	
合計	19,174,917	18,758,397	

(支出の部)

科目	予算金額	実績金額	備考
1 鵬祭援助金	150,000	150,000	
2 卒業記念品代	300,000	277,200	
3 通信費	1,200,000	1,225,630	
4 人件費	700,000	707,080	
5 支部活動費	1,800,000	1,650,000	中国支部辞退
6 旅費交通費	300,000	100,348	
7 渉外費	120,000	81,874	
8 事務局費	200,000	166,533	
9 印刷費	1,000,000	914,100	
10 鵬友会基金特別積金	2,000,000	2,000,000	
11 会議費	100,000	176,360	
12 総会費	1,000,000	719,912	
13 雑費	100,000	49,093	
14 部活動援助費	20,000	10,000	
15 就職活動援助費	100,000	0	
16 会費返金	0	65,340	
17 予備費	1,000,000	0	
(小計)	10,090,000	8,293,470	
次年度繰越金	9,084,917	10,464,927	
合計	19,174,917	18,758,397	

(収入の部合計) - (支出の部合計) = (次年度繰越金)
18,758,397 - 8,293,470 = 10,464,927円

令和5年4月15日
鵬友会会長 角田 隆一郎

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。

令和4年度財産目録

(単位:円) 令和5年3月31日

預金種目	金額	預入先
現金	19,241	
郵便貯金	88,000	佐世保西郵便局
普通預金	12,008,101	十八親和銀行佐世保本店営業部
普通預金	29,558	十八親和銀行相浦支店
定期預金	14,820,027	十八親和銀行佐世保本店営業部
資産合計	26,964,927	
未払金	2,500,000	創立50周年記念事業費
負債合計	2,500,000	
正味財産	24,464,927	
負債・資本合計	26,964,927	

令和4年度も多くの会員より同窓会活動に多額の寄付をいただきました。 心より御礼申し上げます。

鵬友会の同窓会活動を支えてください

鵬友会会員1万7千名の同窓会活動費は終身会費で賄っており、終身会費は、概ね新入生の終身会費一括納入に頼っているのが現状です。同窓会活動は、就職セミナー、支部活動等年々活性化しており、その活動を支える同窓会活動費が逼迫してきています。終身会費を既に納入いただいた同窓の皆さんに寄付のご協力をお願いしております。出費多難の折とは存じますが、同窓会活動をご支援ください。

◆終身会費◆
22,000円(会費:2万円・入会金:2千円)
◆寄付金◆
金額は **3千円 5千円 1万円** それ以上は随意
※同封の振込用紙にて振込み下さい。

★お問い合わせは事務局まで
TEL:0956-47-5146(電話窓口:平日午前9時~12時まで)
E-mail:ho-yu-@nifty.com

昨年度、寄付のお願いを致しましたところ、多くの会員よりご寄付を頂きました。ありがとうございました。紙面を借りましてお礼申し上げます。鵬友会運営のためには皆様のご協力が必要です。引き続きよろしくお願ひ致します。

長崎県立大学佐世保校同窓会 鵬友会会長 宮地 学

寄付者名簿(R4.4~R5.3)順不同・敬称略

田中 一成	小宮 三朗	長友 勤	松永 博
里村 睦子	隅田 圭祐	木野田博之	林田 高
豊里 亮三	櫻井 昌広	松本 文昭	尼崎 彰
浦 和洋	芦刈 修司	大浦 一人	藤井 新一
野間 健司	北岡 俊司	大浦 倫子	岡部 繁
宮地 学	日浦 淳子	松田 直樹	瀧口 治昭
上坂 泰伸	野村 剛	荒巻 宗一	吉永 研二
福永 修一	保坂 昌宏	阿比留 正	中野 実
藤崎 雄介	樋谷 寛治	吉田 裕司	村口 隆志
池田 明人	吉田 健児	高増 法廣	永嶋 圭祐
笠岡 一之	大原 光子	吉田 一安	金子 博美
清田 健児	宮坂 崇	太郎浦雪乃	篠原 洋介
横原 文男	西田 亮二	村川 道雄	川尻 佳嗣
稲葉 茂雄	瀬戸口 功	田岡 一樹	安岡 佳信
山下 慶典	弘中 勝久	北村 正史	伊藤 正
竹之下 博	柳 純	千北 裕吉	山口 哲浩
草野 豹一郎	多々川 慎仁	岡村 有希子	合六 直吉
浜辺 千昭	佐伯 雅典	石田 一正	
内藤 雄司	瓜生田憲治	中原 愛裕	
佐々木 寛明	平原 瑞貴	平田 貴之	

寄付金合計
383,000円

令和4年度 鵬友会本部 活動報告

☆は支部応援活動

何年たっても仲間は仲間。

【令和4年】(2022年)

- 4月 入学式 式典は行わず、学科ごとのオリエンテーションにて入学許可宣言のみ実施
- 4月23日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 6月1日(月) 会報「おとと」vol.35発行
- 6月25日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 7月16日(土) 全体総会 於:佐世保ワシントンホテル
- 8月20日(土) ☆ 関西支部総会 於:錦城閣 藤木副会長
- 10月22日(土) ☆ 福岡支部総会 於:八百治博多ホテル 藤木副会長
- 10月29日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 11月13日(土) 佐世保校就職セミナー

【令和5年】(2023年)

- 1月14日(土) 役員会議 於:佐世保ワシントンホテル
- 2月11日(土) ☆ 東海支部総会 於:名鉄グランドホテル
- 3月20日(月) 卒業式 於:長崎プリックホール 来賓無し
卒業生へ記念品(ことば選び実用辞典)を贈呈
- 3月25日(土) 役員会議 於:レオプラザホテル佐世保
- 3月末 新入生より同窓会費が納入された

※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、支部総会等の活動の多くは中止となっていました。令和5年度の活動に期待をしています。

メールでの情報を希望の会員はアドレスをお教えください。

年々会員数が増加するなかで、総会や各支部活動の案内の連絡を、従来の郵便に頼っていたのでは、同窓会活動経費を圧迫してしまいます。そこで、平成15年7月の役員総会において、今後は積極的に電子メールを使った情報連絡に取り組むことを決議いたしました。つきましては、会員の皆様はメールアドレスを管理者にお教えください。なお、会員の皆様からいただいたメールアドレスは、プライバシー保護の観点から、厳重に管理し、他へは一切漏らしませんので、ご安心ください。**また、登録メールアドレスの確認も含めて、この会報の届く直前に「会報発送メール」を送信しました。**メールアドレスを以前に登録いただいている方で、未着の方は誤ったメールアドレスが登録されている可能性がありますので、再度お知らせください。

メールアドレスの管理者氏名/小室 宏/関東支部長・アドレス/komuro@ho-yu.com(ここにメールを送って下さい)

●メールによる情報連絡の流れ

